

【草花の部屋】

ルリミゾカクシ (キキョウ科ミゾカクシ属 Lobelia erinus)

和名：ルリミゾカクシ、ルリチョウソウ（瑠璃蝶草）

別名：ルリチョウチョウ（瑠璃蝶々）、ロベリア **英名**：edging lobelia

キキョウ目 多年草 **原産地**：南部アフリカ

花言葉：悪意、謙遜、譲る心 **花の色**：紫、白、ピンク



← 写真-1 ルリミゾカクシ

撮影日：2014年06月24日

撮影場所：フェアバンクス

(アラスカ)にて

撮影者：M さん



← 写真-2 ルリミゾカクシ

撮影日：2014年06月24日

撮影場所：フェアバンクス

(アラスカ)にて

撮影者：M さん

フェアバンクスのレストランで見かけました。昼食後、レストラン内の庭を散策中に、まるでモンシロチョウが群がっているような光景が目に入りました。近寄って観るとプランターに植えられた花でした。日本では、ルリチョウソウと呼ばれている花。やはり、ミゾカクシよりもルリチョウソウのほうが優雅に感じます。



← 写真-3 ルリミゾカクシ
～ロベリアパール
撮影日：2014年06月24日
撮影場所：フェアバンクス
(アラスカ)にて
撮影者：M さん



← 写真-4 ルリミゾカクシ
～ロベリアパール
撮影日：2016年06月02日
撮影場所：エトルタ
(フランス)にて
撮影者：M さん

フランスのエトルタを訪れた際、信号待ちをしていた道路の反対側の住宅の壁にハンギングされていました。近寄って見ると、ルリミゾカクシのロベリアパールでした。

<ちょっと一言>

*ルリミゾカクシの由来

るり色の花を咲かせるミゾカクシという意味。ミゾカクシは日本でも湿地や水田のあぜ道でよく見られるロベリア属の野草で、溝を覆うくらい茂るのでこの名前があるそうです。属名のロベリアはベルギーの植物学者ロベルの名前に由来します。